



緑の園 8月号

ヒルトップハイツ

グリーンプラザ

デイサービスセンター

だより

第50号

令和 2年8月1日発行



Tokyo Motor Fist/Lions(2020)

八月は葉月というんですね…。



今月は8月、「葉月(はつき)」です。

木の葉が繁茂し、次第に落ちてくるころだから「葉落ち月」がなまって「はつき」、渡り鳥の雁が初めてやってくる月の「初来月(はつきつき)」から「はつき」。などの説があるそうです。



さて、新型コロナウイルスの感染症に関しては北海道における陽性患者数の累計は1367人(7/22現在)と第2波に襲われた4月ころの増加とまでには至っていないものの所々で集団感染が生じていることもあり依然として心配な状況は続いております。

当法人におきましても「面会制限」は継続されたままの状況で解除できるめどは全く立たないことを申しわけなく思っております。

法人の今までの取り組みの中では「杜のサロン」を実施しておりましたが、今年の2月に開催してから以降中止に追い込まれております。

「杜のサロン」の活動自体がまだまだ認知されていない状況でしたので



社会福祉法人の地域貢献の一環として今後積極的に展開していかなければならない事業の一つではありますが、ここまで開催できない期間が続いてしまうと担当する私たち職員でさえ活動していくことに消極的になってしまう状況にあります。



そんな状況下にあって新しいサロン活動のひとつとしてビデオ会議アプリの「Zoom」を利用したオンラインでのサロン活動を東京の団体がはじめたそうです。

パソコンやスマートフォンを利用できる方に限定されてしまいましたが、実際に参加された方は「家族以外と話ができて気持ちが前向きになった。」「画面が移るので服装を気にするようになった」「集まらなくてもなにかできそう」という感想が集まったそうです。



このようなオンラインでの活動は「杜のサロン」での実現にはハードルがとても高く難しそうですが地域での孤立・閉じこもりの防止や健康・生きがいづくり、そして地域の豊かな人間関係やお互いに支えあい、助け合う関係を作り出すことを目的として当法人が立ち上げた「杜のサロン」が一日も早くは

じめることができる日が訪れるのをひたすら待つのみです。

ヒルトップハイツ、緑の園ならびにグリーンプラザではじまりましたウェブ面会も新しい面会の形として



遠くに離れたご家族とも簡単に顔を見ながら言葉を交わすことができ、何よりインフルエンザの流行

時期には今まで面会をご遠慮いただいておりましたがこれからはこの方法で可能となります。

まだ、広く浸透してはいないもののこの方法での面会はとても画期的なことだと思っています。

「新しい生活様式」はたぶん以前のような生活にはもう戻れないということを踏まえたうえでの取り組みなのでしょうが「仕方なく変わる」のではなく「希望が持てる新しさ」であることを心から願ってやみません。(おばら)

久しぶりのとこやさんでした♪

2月以来できなかつた床屋さんをグリーンプラザでは先月の8日、緑の園では11日に再開することができました。

5月4日付北海道新聞オホーツク欄で紹介いただいたとおり両施設において理容に関



しても理容師さんの入館についてもご遠慮いただいておりましたが先月久しぶりに再開いたしました。

今までとは違い広いスペースでの散髪でしたが、ご



利用者様は「さっぱりしてうれしい」と喜んでおられ、わたしたち職員といたしましたもほっとしております。

特別養護老人ホーム丸瀬布ヒルトップハイツ/丸瀬布デイサービスセンター/遠軽町丸瀬布ヒルトップハイツ居宅介護支援事業所移転計画につきまして。

まずは表題が長くてごめんなさい…。

既にご存知の方も多いかと存じますが、特別養護老人ホーム丸瀬布ヒルトップハイツ/丸瀬布デイサービス



センターならびに遠軽町丸瀬布ヒルトップハイツ居宅介護支援事業所につきましてはまるせっぷ厚生クリニックの2階病棟ならびに1階部分に移転することが正式に決定されました。

特別養護老人ホーム丸瀬布ヒルトップハイツにつきましては昭和60年(1985年)に開設以来34年を経過し老朽化による大規模な修繕が必要となっていること、近年介護手法が開設当初に比べより「個」を重視したものと変貌を遂げている中で入所されておられる方々の多様な要望に対処することが困難となりつつあります。

そのような施設の状況からヒルトップハイツの新築計画として「まるせっぷ厚生クリニック」へ移転することとなりました。

令和2年度に設計がはじまり令和4年度に着工、令和5年度に丸瀬布デイサービスセンター、遠軽町丸瀬布ヒルトップハイツ居宅介護支援事業所ともども移転の予定となっております。



編集後記…私、8月は文月と勘違いしてました。

「文月」用の原稿を準備してましたが、残念ながらボツです。自分なりにいい原稿だったのでショックでした。(おばら)